神奈川県立総合教育センター

令和5年度　研修講座シラバス

研修の種類	基本研修	コンセプト	専門力向上・課題解決力向上・人格的資質向上

１　研修講座名

事業名	キャリアアップステージ研修事業	対象	小・中・高・中等・特	定員	該当者
講座名	中堅養護教諭等資質向上研修講座				

２　研修目的･日数

研修の目的	個々の能力、適性等に応じた研修を実施し、学校保健活動の推進に必要な知識や技能を充実させ、学校運営の中核的な存在としてより良い学校づくりを進めるための力量向上を図ります。

区分	区分の目的	日数	総日数
【専門力向上区分】	校内外の連携においてリーダーシップを発揮し、児童・生徒支援のために、組織的に学校保健活動が推進できる専門力の向上を目指します。	2	4.5 他に選択2
【課題解決力向上区分】	「組織的な学校保健活動の推進」を中心的な課題とした実践研究を通して、若手教員育成やＯＪＴの活性化を推進する中核的な教員としての立場を意識するとともに、学校組織をいかした計画的・探究的な取組の方法について学びます。	2	
【人格的資質向上区分】	これまでの教職経験をいかし、中核的な教員としての役割を意識するとともに社会の今日的な課題や様々な教育的ニーズについて学び、学校教育活動の充実を図ります。	0.5	

３　研修内容

日付・会場	ねらい（身に付けたい資質・指導力等）	形態・時間	内容	講師等	備考
机上研修 4/3（月） 掲載開始	【資質】学校運営における中核的な教員としての役割意識の醸成を図るとともに、中堅教諭等資質向上研修の意義と具体的内容や進め方について理解する。	机上 30分	「中堅教諭等資質向上研修の意義・概要」	所員	4/28までに受講
	【資質】教育公務員としての自覚を持つ。	机上 30分	「不祥事防止に向けて」	行政課	
机上研修 5/9（火） 掲載開始	【課題】実践研究の進め方について理解するとともに、自身の中堅養護教諭等資質向上研修の計画について見通しを持つ。	机上 30分	「実践研究の進め方と研修計画」	所員	5/31までに受講
机上研修 7/11（火） 掲載開始	【資質】教育公務員としての自覚を持って、人権教育について考え、中核的な教員としての役割を意識する。	机上 30分	「人権教育」＊	所員	1/29までに受講
	【資質】学校で勤務する上での心と身体の健康について、理解を深めるとともに、ストレスマネジメントの考え方を理解する。	机上 55分	「中堅教員のメンタルヘルス」	大草心理臨床・教育相談室学校心理士・臨床心理士 大草正信 氏	
	【資質】学校における教育活動の中で、チームリーダーとして対応していく態度の育成を図る。	机上 45分	「学校組織マネジメントと中堅教員の役割」	所員	
	【課題】学校と地域が協働し、子どもたちを支える学校づくりを推進するための中堅教員としての役割について考える。	机上 55分	「コミュニティ・スクール」＊	所員	
	【課題】インクルーシブな学校づくりに向けて、中堅教諭としての役割について考える。	机上 55分	「インクルーシブな学校づくりの推進」＊	所員	
	【課題】発達段階に応じたプログラミング的思考の育成について考えることを通して、プログラミング教育について理解を深める。	机上 55分	「プログラミング教育」	所員	
	【課題】入学者選抜や定期試験等における採点と点検に対する意識を高めるとともに、行政文書の適正な管理について理解を深める。	机上 20分	「入学者選抜等における採点と点検での事故防止・行政文書の管理」	高校教育課	

1日目 8/9（水） 集合研修	【専門力】組織的に保健教育・保健指導を進めるための考え方や方法について理解を深め、校内外で果たすべき役割について考える。	講義・演習 3時間	「専門性をいかした保健教育・保健指導の進め方～中堅養護教諭として～」	横浜国立大学 教授 物部博文 氏	
	【専門力】組織的に保健教育・保健指導を進めるための考え方や方法について理解を深め、校内外で果たすべき役割について考える。	講義・演習 3時間30分	「専門性をいかした保健教育・保健指導の進め方～中堅養護教諭として～」	横浜国立大学 教授 物部博文 氏	
2日目 8/18（金） 県立スポーツセンター	【専門力】救急処置の最新の知識と技能について理解を深める。	講義・演習 3時間	「救急処置の最新の理論と実際」	独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター救急科部長副救命救急センター長 大塚剛 氏	
	【専門力】救急処置の最新の知識と技能について理解を深める。	講義・演習 3時間30分	「救急処置の最新の理論と実際」	独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター救急科部長副救命救急センター長 大塚剛 氏	
3日目 － 勤務校	【課題】学校保健の推進を主題とした課題の解決に向けた研究を通して、組織的な取組の重要性を理解する。	実践研究 1日	「実践研究とまとめ」		1/29までに実施
4日目 1/29（月） 集合研修 【特別支援】 9:00～ 11:30 【小・中・高・中等】 14:00～ 16:30	【課題】実践研究についての報告・協議を通して実践研究内容の共有化を図り、組織的な学校保健活動のための取組に関する知識や技術の充実を図る。	報告・協議 2時間30分	「実践研究の共有」	所員	
5日目 6日目 － 各研修場所	【選択】個々のニーズに応じた研修内容を学校教育にいかす。	2日	「選択研修」＊	各担当	選択研修講座から2講座選択

４　受講にあたって

【横浜国立大学連携講座（１日目）】

＊：免許状更新講習の受講により受講免除となる内容

・掲載開始とは、県立総合教育センター研修用サイトに机上研修用の資料が公開される日です。

・日時の詳細については、「実施要項」を参照してください。

・勤務校で使用している名札をお持ちください。

・２日目（８月18日）は救急法の実習を行いますので、実習可能な動きやすい服装（スカート以外）でお越しいただくか、ジャージ等をお持ちください。持ち物は三角巾・伸縮包帯および弾性包帯（５～６cm幅のもの）・ハンカチまたはハンドタオル・カットガーゼ（Mサイズ程度のもの）・サージカルテープです。

・４日目には、校長の承認を得た実践研究共有シートの写しを20部、印刷してお持ちください。

・研修の実施について緊急の連絡が必要となった場合、県立総合教育センターホームページ上にある「緊急連絡掲示板」にその内容を掲載しますので、事前にご確認ください。

教育人材育成課　キャリア推進班
(0466)81-1635